

大阪市立



八幡屋小学校

所在地 〒552-0014 港区八幡屋3丁目3番5号

TEL 06-6571-0013

FAX 06-6572-2482

校長名 井原 高志 (いはら たかし)



学校の紹介・校長メッセージ

八幡屋小学校では、教育の目標は、「3つの自立を促し、確立させることである」と考え、様々な取り組みを進めています。3つの自立とは、「学習の自立」「生活の自立」「生き方の自立」です。

「学習の自立」では、学習を行う上で、決して受動的ではなく、自発的に主体的に学んでいく姿勢を育てたいと考えています。「生活の自立」では、基本的な生活習慣の確立を

始め、規範意識の醸成や食に対する意識の向上など、自己管理し、計画的に生活できる力を育てます。そして、「生き方の自立」では、将来の夢や希望を叶えるための力を育成し、主体的に肯定的に自己を捉え、自己実現が図れるよう取り組みを進めます。

これらの目標をもとに【めざす子ども像】と【学校の教育目標】を以下のように設定しています。

めざす子ども像

しんの強い子

学校教育目標

～知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな実践力のある子どもを育てる～

- ★★★ 様々な体験活動を通して学習意欲を高める。
- ★★★ 基本的な生活習慣の確立と規範意識の育成に努め、自己肯定感を育む。
- ★★★ 体力の保持増進を図り、健康で安全な生活習慣を身に付ける。

以上の教育目標のもと、特色ある教育活動の一つとして体験学習を重視し、芸術鑑賞、ゲストティーチャーによる出前授業、1人1台端末の活用による個別最適な学びに取り組んでいます。

※校舎増築の計画があります。工事期間中は、運動場や校舎が狭いなど、教育活動に一部制限がかかりますが、学校として最大限の教育に努めてまいります。

運営に関する計画

【安全・安心な教育の推進】

【全市共通目標】

(小学校学力経年調査における)

- 「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。

【学校の年度目標】

- 学校アンケート「学校に行くのは楽しい」「学校の先生は、一人ひとりのよさをわかってきている」「学校の先生は、こまったときに助けてくれる」の項目の肯定的な回答の割合をそれぞれ90%以上にする。
- 学校アンケート「きまりやルールをまもっている」の項目の肯定的な回答の割合を90%以上にする。
- 学校アンケート「災害が起こった時にすることがわかっている」の項目の肯定的な回答の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

【全市共通目標】

(小学校学力経年調査における)

- 算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。
- 「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

【学校の年度目標】

- 学校アンケート「授業はよくわかる。」の項目の肯定的な回答の割合を90%以上にする。
- 学校アンケート「運動(体を動かす遊びも含む)やスポーツをすることは好きですか」の項目の肯定的な回答の割合を90%以上にする。
- 歯と口の健康カードの「給食のあと、歯みがきをしましたか」「朝と夜ねる前、歯みがきをしましたか」の項目の肯定的な回答の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

【全市共通目標】

(小学校学力経年調査における)

- 「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上にする。

【学校の年度目標】

- 各学年の全国統一タイピングカテストの中央値を超える児童の割合を80%以上にする。
- 学校アンケート「タブレットを使った授業は好きである」の項目の肯定的な回答の割合を85%以上にする。
- 学校アンケート「読書は好きである」の項目の肯定的な回答の割合を70%以上にする。

●令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

大阪市教育委員会では、調査対象学年が単学級の学校の校長は、調査結果を公表しないことができるものとしており、本校では平均正答率を含む調査結果は公表しない。

国語科は全国・大阪市の平均正答率を超えることができた。算数科は全国・大阪市国平均正答率に達することはできなかった。理科は全国・大阪市国平均正答率に達することはできなかったが、その差は小さくなった。平均無答率はすべての教科で全国・大阪市に比べて低く、すすんで回答することができている。

【国語】読解力を高めるため朝の学習時間に文章問題のドリルに取り組み、文章を正しく読み取る練習を重ねてきた。また、継続的に日記指導や1分間スピーチに取り組み、短い文章で適切に表現する練習を重ねた。その結果、今年度の全国学力・学習状況調査で全国・大阪市の平均正答率を超えることができた。学習指導要領の項目では、6項目中4項目で全国・大阪市の数値を超えることができた。

【算数】本校は算数科の研究に取り組んでいる。少人数で学ぶ機会を多く持ち、自分なりの考えを持ち、友だちと意見を交流する授業を展開している。誤答が多かった問題については繰り返し学ぶ場を持ち、学習内容の定着を図っている。全校児童が同一の文章問題に毎週取り組み「ひらめきアタック」を実施している。基礎基本の学力の定着を目指し「放課後指導」にも取り組んでいる。毎年その成果は表れているが、今年度の全国学力・学習状況調査では全国・大阪市の平均正答率に達することはできなかった。

【理科】今年度より理科教育推進校に指定され理科支援員が配置されている。これまで以上に観察・実験が充実した学習指導が進められている。その結果、令和4年度の結果と比較すると全国・大阪市平均正答率との差は縮まった。

【児童質問紙】「自分には、よいところがあると思う」「将来の夢や目標を持っている」「人の役に立つ人間になりたいと思う」「人が困っているときは、進んで助けています」の項目において肯定的な回答をする児童の割合は大阪市・全国の値よりかなり高くなっている。日々の教育活動において、児童の思いを大切に、一人ひとりが自己実現できるような取り組みを推進した成果が見られる。それは、「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」の項目での肯定的回答する児童の割合からもうかがえる。また、「学力向上支援チーム事業」や少人数指導によって、より分かりやすい授業を目指すとともに、自分の考えをもって主体的に学びをすすめる活動の推進の成果でもあると考える。

学校全体の取り組みとしては、少人数指導の実施、基礎基本の定着を目指した放課後学習の実施、文章問題の読解力を高めるために全学年で読解力ワークブックの実施、児童が主体的に文章問題にチャレンジする「きらめきアタック」の実施など、個々の児童の課題を解決するような取り組みを日々重ねていく。

●令和7年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

項目	握力 (kg)	上体起こし (回数)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回数)	20mシャトルラン (回数)	50m走 (秒)	立ち幅とび (cm)	ボール投げ (m)	体力合計点
男子	16.10	19.80	33.00	45.00	43.10	9.46	158.60	25.20	54.10
女子	16.07	22.43	35.71	39.21	41.93	9.49	143.64	18.50	57.79

今年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は大変よい結果が得られた。「ソフトボール投げ」については、男女ともに大阪市・全国平均を上回っていた。その他の種目についても大阪市・全国平均を上回っており、体力合計点も男女ともに大阪市・全国平均を上回ることができた。一方、「長座体前屈」では男女ともに、「20mシャトルラン」では男子が大阪市・全国平均を下回る結果となった。男女ともに、柔軟性を必要とする種目に課題が見られた。

児童の質問項目の「運動やスポーツをすることは好きですか」については、「好き」と最も肯定的に答えた児童は90.0%で、大阪市平均(74.3%)・全国平均(65.2%)を上回っていた。「1週間の総運動量」についても、本校は体を動かすことが好きな児童が多く、総運動時間が60分未満の児童の割合は男女ともに0%であった。

【成果と課題】

○「運営に関する計画」の取組内容に「体を動かす機会を多く持てるよう工夫し、児童が進んで楽しく運動する習慣を付けよう。」を示し、全学年で、指標「新体力テストを年2回実施し、2回目の結果を1回目より向上させる。」に取り組んだ。その結果、2回目の記録で、体力・運動能力の向上が見られた。

○体育科の授業だけでは体力向上につながらない。運動を促進するために、縦割り集団で遊ぶ「キッズタイム」に取り組んだ。また、学校行事として「かけあしタイム」「なわとびタイム」など全校で運動に取り組む活動も実施した。

【今後の取組】

○休み時間に外で体を動かしたくなるような遊具(とび縄・フラフープ・大谷グローブなど)を、児童の手に取りやすい場所へ置いておく必要がある。

○基礎となる体づくり運動を重視したい。縦割り班の活動でサーキットなどの遊びを取り入れることを検討する。

様々な学校行事と体験的な学習

八幡屋小学校では、体験することや経験することが児童の「学び」への興味・関心を引き出し、知的な好奇心を高揚することで「学習」への意欲が高まり、これが学力の定着や向上に密接につながるため、「体験的な学習」を重視した、様々な教育活動を進めています。



ワールドフェスタ(多文化共生学習の1つで、アジアの国々の文化や遊びを体験する活動です)



米作り体験(5年生が校庭にある田んぼで田植え・稲刈り・わら細工をする体験活動です)



毎週木曜日の20分休みは、キッズタイムです。1～6年生のたてわり班で楽しく遊びます。



防災学習(消防署・地域の方から教えてもらい、保護者との引き渡し訓練も行っています)